

交通安全への功績で表彰

市内から、優良運転者として、丸山日出夫さん（泉）と、交通安全功労団体として、山方のヤッホーふれあいの会（木村勉会長ほか会員18人）が、関東管区警察局長及び関東交通安全協会連合会長より表彰されました。

丸山さんは、大宮自動車教習所の指導員として、退職されるまで34年間にわたり指導にあたられました。また、現在はシルバー人材センターのバスの運転手として活躍されています。

ヤッホーふれあいの会は、キャンペーンや立哨活動への参加をはじめ、毎月シートベルトの着用調査を実施するなど、交通事故防止に尽力されています。



▲やっほーふれあいの会の皆さん
（昨年の活動の様子）



丸山日出夫さん▶

交通安全キャンペーン実施

12月1日からの年末の交通事故防止県民運動期間に合わせて、市内でキャンペーンが実施されました。

大宮地域（12月1日）及び山方地域（12月4日）では国道118号沿いにおいて、また、緒川地域（12月1日）及び美和地域（12月5日）では、国道293号沿いにおいてそれぞれ実施されました。

キャンペーンには、交通安全母の会や交通安全協会、警察署等が参加し、交通安全グッズを手渡しながら、行き交うドライバーに飲酒運転の追放や安全運転の呼びかけを行いました。

また、昨年12月に大宮地域で発生した吉田有希ちゃん死体遺棄事件の早期解決に向けて、チラシを配布し、情報提供をお願いしました。

大好きいばらき県民運動で表彰

11月27日、県市町村会館において大好きいばらき県民運動表彰式が開かれ、第34回花と緑の環境美化コンクール及び第17回大好きいばらき作文コンクールで市内から各団体や個人が表彰されました。

【花と緑の環境美化コンクール】

○県知事賞

松之草高齢者クラブ松寿会（緒川地域）

○県教育長賞

寿会（美和地域）
上野小学校（大宮地域）

○茨城新聞社賞

亀楽会（美和地域）



▲松寿会の花だん

【大好きいばらき作文コンクール】

小中学生を対象に、日頃の生活の中での「あたたかな人と人との心の通い合い」をテーマに作文を募集。

○県知事賞

高村 一就さん（山方小）

○県議会議長賞

大賀 朱莉さん（大宮小）

○大好きいばらき県民会議理事長賞

石井 智大さん（村田小）



◀県知事賞を受賞した高村さん



▲山方地域交通安全キャンペーン



▲緒川地域街頭安全キャンペーン

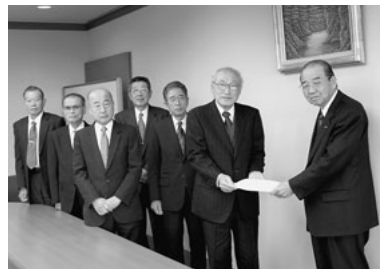
シルバーサポーター交通安全教室

美和地域総合福祉センターにおいて、12月11日から5日間にわたって、高齢者生き生きふれあい事業の一環として、シルバーサポーターによる高齢者を対象とした交通安全教室が開催されました。

期間中は、パンフレットやノベルティ等を配布しての交通安全啓蒙活動や、大宮警察署交通課警察官による、市内で発生した交通事故等の実話を交えた講話もあり、参加した方は熱心に耳を傾けていました。



補助金等の見直しへ提言



11月28日、常陸大宮市補助金等検討委員会（野上義明委員長 ほか5人）から市補助金等の見直しに関する方針が市長へ提出されました。

これは、平成17年度に同委員会から提言を受け、平成18年4月1日から施行された市補助金等見直し要領に基づき、市が団体等へ交付している単独の補助金について同委員会が担当部署から聴取による個別審査を行い、現状と問題点等を調査し今後の補助金等の全般にわたる共通的、総括的な見直しに関する方針をまとめ提出されたものです。

今後、この方針に基づき市補助金等審議会において、全ての単独補助金等の見直しを行い、その結果については平成19年度予算へ反映されることになります。

村田小学校で人権教室

12月4日から10日の人権週間にあわせ、人権尊重思想の普及高揚の啓発活動の一環として、12月7日、村田小学校の5・6年生を対象に、市人権擁護

委員協議会（野澤知行会長）の主催により人権教室が開催されました。寺門延幸人権擁護委員が講師となり、いじめをテーマにしたアニメビデオ「プレゼント」を視聴し、その感想をもとにみんなで話し合いをしました。



現役プロ野球選手に学ぶ

12月2日、大宮運動公園野球場において第7回ちびっ子スポーツ天国「少年野球教室」が開催され、プロ野球選手による指導が行われました。

これは、市商工会青年部及び市商工会主催によるもので、指導したのは巨人の豊田投手、ヤクルトの宮出外野手、ロッテの今江内野手など。現役の一流選手に指導を受けるまたとない機会とあつて、市内のスポーツ少年団などから約400人が参加しました。

ボールの握り方や投げ方など基本動作の指導の後、ポジションごとの実技指導などが行われ、子どもたちはあこがれの選手を見つめながら、アドバイスを真剣に聞いていました。

豊田選手は「素直で良い子ばかり。今日教えたことを忘れず継続して欲しい。」

助さん格さんサポーター

来年11月に開かれる、ねんりんピック茨城2007のPR活動をする「助さん格さんサポーター」88人が決定しました。県内各市町村2人ずつサポーターとなり、当市では金井津子さん（田子内町）と木村雅子さん（中富町）に委嘱されました。

ねんりんピックは全国から選手団を招き、来年11月10日から4日間、県内20市町でスポーツ大会やイベントなどを開催。市内では、なぎなた交流大会が開催されます。「助さん格さんサポーター」には、今後、キャンペーンや地域のイベントなどを通して大会のPRをしていただきます。



▲サポーターとなった金井さん（右）と木村さん（左）



▲子どもたちに投げ方の指導をする豊田選手（左）と宮出選手（右）

い。将来またここに来た時に成長していることを期待しています」と、子どもたちにエールを贈っていました。

美和中学校で中高一貫教育 思いやりの輪を広げよう

12月4日、美和中学生と小瀬高校生が、中高一貫教育による交流学習を行いました。この日は、中学生が福祉施

設を訪問した際に感じていた疑問を、小瀬高の福祉系の生徒に質問し、解決しながら理解を深めました。また、班に分かれて高校生から寝たきりの人や障害のある人に対するリネン交換やベッドから車いすへの移乗の介助方法を教わりました。

中学生は、シーツのたたみ方、敷き方にも工夫があることを発見するなど、先生とは違う高校生からの指導に、親しみをもちながら福祉に対する気持ちが高められたようです。



▲ベッドからの移乗の指導の様子